

機械工学 教授・准教授・講師(研究指導あり)ユニット

【部局名:工学研究院】

ユニット ※設置する場合は記入	評価分野	評価項目	ウエイト	評価基準
機械工学 教授・准教授・講師 (研究指導あり)	教育	授業科目の担当状況【学部】(全学教育科目含む)	0.2	【5:特に優れている】 学部科目を7科目相当以上、担当した 【4:水準を上回っている】 学部科目を5-6科目相当、担当した 【3:水準に達している】 学部科目を4科目相当、担当した 【2:改善の余地がある】 学部科目を2-3科目相当、担当した 【1:問題があり改善を要する】 学部科目を1科目相当以下、担当した
		授業科目の担当状況【大学院】	0.2	【5:特に優れている】 大学院科目を15科目相当以上、担当した(過去2年間の平均) 【4:水準を上回っている】 大学院科目を12-14科目相当、担当した(過去2年間の平均) 【3:水準に達している】 大学院科目を11科目相当、担当した(過去2年間の平均) 【2:改善の余地がある】 大学院科目を1-10科目相当、担当した(過去2年間の平均) 【1:問題があり改善を要する】 大学院科目を過去2年間に担当していない
		卒業研究指導状況	0.3	【5:特に優れている】 6名以上の学部学生を指導した 【4:水準を上回っている】 5名の学部学生を指導した 【3:水準に達している】 3-4名の学部学生を指導した 【2:改善の余地がある】 1-2名の学部学生を指導した 【1:問題があり改善を要する】 学部学生を指導しなかった
		博士課程前期研究指導状況	0.2	【5:特に優れている】 8名以上の前期課程学生(1,2年生)を指導した 【4:水準を上回っている】 6-7名の前期課程学生(1,2年生)を指導した 【3:水準に達している】 2-5名の前期課程学生(1,2年生)を指導した 【2:改善の余地がある】 1名の前期課程学生(1,2年生)を指導した 【1:問題があり改善を要する】 前期課程学生を指導しなかった
		博士課程後期研究指導状況	0.5	【5:特に優れている】 4名以上の後期課程学生を指導した 【4:水準を上回っている】 1~3名の後期課程学生を指導した 【3:水準に達している】 直近5年以内に学生の指導(主査)をしている。 【2:改善の余地がある】 直近10年以内に学生の指導(主査)をしている。 【1:問題があり改善を要する】 直近10年以上学生の指導(主査)実績が無い。
留学生の受入状況	0	【5:特に優れている】 該当する場合は「研究指導状況」で評価する 【4:水準を上回っている】 【3:水準に達している】 【2:改善の余地がある】 【1:問題があり改善を要する】		

機械工学 教授・准教授・講師(研究指導あり)ユニット

【部局名:工学研究院】

ユニット ※設置する場合は記入	評価分野	評価項目	ウエイト	評価基準
機械工学 教授・准教授・講師 (研究指導あり)	教 育	教育方法の改善に関する取組状況	0	【5:特に優れている】
				【4:水準を上回っている】
				【3:水準に達している】
				【2:改善の余地がある】
				【1:問題があり改善を要する】
		その他の教育活動	0.8	【5:特に優れている】
				総合的にユニット・EPの水準を大きく上回っている 【4:水準を上回っている】
				総合的にユニット・EPの水準を上回っている 【3:水準に達している】
				総合的にユニット・EPの水準に達している 【2:改善の余地がある】
				総合的にユニット・EPの水準以下である 【1:問題があり改善を要する】
総合的にユニット・EPの水準を大きく下回っている				

機械工学 教授・准教授・講師(研究指導あり)ユニット

【部局名:工学研究院】

ユニット ※設置する場合は記入	評価分野	評価項目	ウエイト	評価基準
機械工学 教授・准教授・講師 (研究指導あり)	研 究	学術雑誌等の論文公表の状況	1.0	【5:特に優れている】 査読付きJournal論文4件以上、または2年間で7件以上 【4:水準を上回っている】 査読付きJournal論文3件以上、または2年間で5件以上 【3:水準に達している】 査読付きJournal論文1件以上、または2年間で2件以上 【2:改善の余地がある】 査読付きJournal論文2年間で1件以上 【1:問題があり改善を要する】 2を満たさない
		学術専門書等の執筆、編集の状況	0	【5:特に優れている】 該当する場合は「その他の研究活動」で評価する 【4:水準を上回っている】 【3:水準に達している】 【2:改善の余地がある】 【1:問題があり改善を要する】
		解説、総説等の公表状況	0	【5:特に優れている】 該当する場合は「その他の研究活動」で評価する 【4:水準を上回っている】 【3:水準に達している】 【2:改善の余地がある】 【1:問題があり改善を要する】
		建築、芸術、演奏、体育系分野等の活動状況	0	【5:特に優れている】 【4:水準を上回っている】 【3:水準に達している】 【2:改善の余地がある】 【1:問題があり改善を要する】
		特許出願状況	0	【5:特に優れている】 該当する場合は「その他の研究活動」で評価する 【4:水準を上回っている】 【3:水準に達している】 【2:改善の余地がある】 【1:問題があり改善を要する】
		学術賞等の受賞の状況	0	【5:特に優れている】 該当する場合は「その他の研究活動」で評価する 【4:水準を上回っている】 【3:水準に達している】 【2:改善の余地がある】 【1:問題があり改善を要する】

機械工学 教授・准教授・講師(研究指導あり)ユニット

【部局名:工学研究院】

ユニット ※設置する場合は記入	評価分野	評価項目	ウエイト	評価基準
機械工学 教授・准教授・講師 (研究指導あり)	研究	学会発表、講演等の状況	0.4	【5:特に優れている】 国際会議での発表を5回以上行った 【4:水準を上回っている】 国際会議での発表を3-4回行った 【3:水準に達している】 国際会議での発表を1-2回行った 【2:改善の余地がある】 国際会議での発表を行っていないが、国内会議では発表あり 【1:問題があり改善を要する】 年度内に国内会議または国際会議での発表を行っていない
		学術調査、研究報告等の活動状況	0	【5:特に優れている】 【4:水準を上回っている】 【3:水準に達している】 【2:改善の余地がある】 【1:問題があり改善を要する】
		科学研究費の申請、獲得状況	0.4	【5:特に優れている】 科研費活動指数が1.2以上 【4:水準を上回っている】 科研費活動指数が0.8以上 【3:水準に達している】 科研費活動指数が0.6以上 【2:改善の余地がある】 当該年度1件以上の申請をした 【1:問題があり改善を要する】 申請を行っていない
		共同研究、受託研究、その他外部資金の獲得状況	0.4	【5:特に優れている】 直近5年もしくは勤続年数が満たない場合は勤続年内の年平均1000万円以上 【4:水準を上回っている】 直近5年もしくは勤続年数が満たない場合は勤続年内の年平均500万円以上 【3:水準に達している】 直近5年もしくは勤続年数が満たない場合は勤続年内の年平均200万円以上 【2:改善の余地がある】 直近5年もしくは勤続年数が満たない場合は勤続年内の年平均100万円以上 【1:問題があり改善を要する】 2を満たさない
		その他の研究活動	0.8	【5:特に優れている】 総合的にユニット・EPの水準を大きく上回っている 【4:水準を上回っている】 総合的にユニット・EPの水準を上回っている 【3:水準に達している】 総合的にユニット・EPの水準に達している 【2:改善の余地がある】 総合的にユニット・EPの水準以下である 【1:問題があり改善を要する】 総合的にユニット・EPの水準を大きく下回っている

機械工学 教授・准教授・講師(研究指導あり)ユニット

【部局名:工学研究院】

ユニット ※設置する場合は記入	評価分野	評価項目	ウエイト	評価基準
機械工学 教授・准教授・講師 (研究指導あり)	社会貢献	国、地方公共団体での活動状況	0	【5:特に優れている】 該当する場合は「その他の社会貢献活動」で評価する 【4:水準を上回っている】 【3:水準に達している】 【2:改善の余地がある】 【1:問題があり改善を要する】
		学会等の学術団体での活動状況	0.3	【5:特に優れている】 学会の理事、委員長や主査を担当している 【4:水準を上回っている】 学会の委員等の活動を3件以上担当している 【3:水準に達している】 学会の委員等の活動を2件担当している 【2:改善の余地がある】 学会の委員等の活動を1件担当している 【1:問題があり改善を要する】 学会の委員等の活動を行っていない
		公開講座、生涯学習教育に関する活動状況	0	【5:特に優れている】 該当する場合は「その他の社会貢献活動」で評価する 【4:水準を上回っている】 【3:水準に達している】 【2:改善の余地がある】 【1:問題があり改善を要する】
		産学連携活動(技術移転、技術相談等)の状況	0	【5:特に優れている】 該当する場合は「その他の社会貢献活動」で評価する 【4:水準を上回っている】 【3:水準に達している】 【2:改善の余地がある】 【1:問題があり改善を要する】
		国際共同研究に関する活動状況	0	【5:特に優れている】 該当する場合は「その他の社会貢献活動」で評価する 【4:水準を上回っている】 【3:水準に達している】 【2:改善の余地がある】 【1:問題があり改善を要する】
		海外活動支援の状況	0	【5:特に優れている】 該当する場合は「その他の社会貢献活動」で評価する 【4:水準を上回っている】 【3:水準に達している】 【2:改善の余地がある】 【1:問題があり改善を要する】

機械工学 教授・准教授・講師(研究指導あり)ユニット

【部局名:工学研究院】

ユニット ※設置する場合は記入	評価分野	評価項目	ウエイト	評価基準
機械工学 教授・准教授・講師 (研究指導あり)	社会貢献	地域連携活動の状況	0	【5:特に優れている】
				該当する場合は「その他の社会貢献活動」で評価する
				【4:水準を上回っている】
				【3:水準に達している】
				【2:改善の余地がある】
	【1:問題があり改善を要する】			
		その他の社会貢献活動	0.7	【5:特に優れている】
				総合的にユニット・EPの水準を大きく上回っている
				【4:水準を上回っている】
				総合的にユニット・EPの水準を上回っている
【3:水準に達している】				
総合的にユニット・EPの水準に達している				
【2:改善の余地がある】				
総合的にユニット・EPの水準以下である				
【1:問題があり改善を要する】				
総合的にユニット・EPの水準を大きく下回っている				

機械工学 教授・准教授・講師(研究指導あり)ユニット

【部局名:工学研究院】

ユニット ※設置する場合は記入	評価分野	評価項目	ウエイト	評価基準
機械工学 教授・准教授・講師 (研究指導あり)	管理運営	学内の管理運営組織での活動状況	0.5	【5:特に優れている】 ユニット代表、EP代表等の職責を果たしている。 【4:水準を上回っている】 学部:入試・広報委員、教務・厚生委員 大学院:入試・留学生委員、教務・図書委員などの職責を果たしている。 【3:水準に達している】 上記以外の学内委員の職責を果たしている。 【2:改善の余地がある】 学内の管理運営業務を担当していない。 【1:問題があり改善を要する】 5年以上、学内の管理運営業務を担当していない。
		入試業務に係わる活動状況	0.5	【5:特に優れている】 学部入試出題責任者レベルの職責を果たしている。 【4:水準を上回っている】 学部入試出題者、大学院入試出題責任者レベルの職責を果たしている。 【3:水準に達している】 学部入試出題者補助者、大学院入試出題者レベルの職責を果たしている。 【2:改善の余地がある】 出題業務を担当していない。 【1:問題があり改善を要する】 入試業務において過失を犯す。入試業務を正当な理由なく拒否する。
		入学・進学志願者増加に係わる活動状況	0	【5:特に優れている】 【4:水準を上回っている】 【3:水準に達している】 【2:改善の余地がある】 【1:問題があり改善を要する】
		就職支援、課外活動支援に係わる活動状況	0	【5:特に優れている】 【4:水準を上回っている】 【3:水準に達している】 【2:改善の余地がある】 【1:問題があり改善を要する】
		その他の管理運営業務	0.5	【5:特に優れている】 【4:水準を上回っている】 学内委員ではないが、ユニット、EP、研究室などの管理運営業務の職責を水準を上回って果たしている。 【3:水準に達している】 学内委員ではないが、ユニット、EP、研究室などの管理運営業務の職責を果たしている。 【2:改善の余地がある】 学内委員ではないが、ユニット、EP、研究室などの管理運営業務の職責十分に果たしているとは言えない。 【1:問題があり改善を要する】 学内委員ではないが、ユニット、EP、研究室などの管理運営業務の職責を果たしていない。